

## 政策分析シート（平成27年度）

<b>政策名</b>	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	<b>政策No</b>	15	<b>部名</b>	総務企画部	
<b>関連部名</b>	管理部、区民生活部					
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	VII 計画推進のために				
<b>目的</b>	目標の設定により成果を重視した戦略的な行政運営に取り組むとともに、行政改革の推進や事務事業の再点検等をおして、健全かつ安定的な財政運営を推進する。 また、更に質の高い行政サービスを提供するため、区職員の人材育成に努める。					
<b>指標</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>	
		24年度	25年度	26年度		
	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	<b>政策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>
	24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	行政評価分析シートの公開率(%)	100	100	100	100	100
②	経常収支比率(%)	88.0	85.5	85.5	-	85.0 <small>経常経費充当一般財源/経常一般財源総額×100</small>
③	区民税徴収率(現年課税分)(%)	96.99	97.20	97.57	97.70	97.72 <small>収入額/現年調定額×100</small>
④						
⑤						
⑥						
⑦						
<b>現状と課題(指標分析)</b>	○これまで全庁をあげて行政改革の推進や事務事業の見直しや改善を行ってきた。今後も継続して、基本計画等に掲げた指標に対する進捗状況の分析・評価を行い、行政改革等をさらに推進することが求められている。 ○財政面では、各財政指標は健全な水準を維持しているが、景気の低迷による税収の減少もあり、引き続き費用対効果等を十分に見極め、効率的な財政運営を行っていくとともに、税収の安定的な確保に向けて徴収率の向上や滞納の整理に取り組む必要がある。 ○区で働くことに誇りを持ち、区民サービス向上の原動力となる高い意欲を持つ職員を育成し、持続的に向上させていくよう、より戦略的な人事政策を展開していく必要がある。					
<b>今後の方向性</b>	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○公会計制度改革や幸福実感指標を取り入れた行政評価システムと区政経営戦略プランを連動させて進捗管理を行うことにより、区民ニーズに的確に対応するとともに、より効率的かつ効果的な区政運営を実現する。 ○景気に左右されにくい強固な財政基盤の構築を引き続き図っていく。 ○人事考課制度の効率的な運用に努めていくとともに、荒川区職員ビジネスカレッジなど、職員が自発的に受講する研修についての一層の拡充を図る。 ○今後とも低コストで使いやすい情報システム環境の整備と機能の充実を図り、業務効率の向上に努める。					

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	27年度設定	28年度設定	
戦略的な政策形成と行政改革の推進	重点的に推進	重点的に推進	公会計制度改革や幸福実感指標を取り入れた行政評価システムと区政経営戦略プランを連動させて進捗管理を行うことにより、厳しい財政状況でも区民ニーズを的確に捉え、戦略的・計画的な区政運営を実践していく。
効率的な財政運営	重点的に推進	重点的に推進	行政サービスの安定的かつ継続的な提供のためには、簡素で効率的な財政運営が不可欠であり、当該施策の優先度は極めて高い。
税収の安定的な確保	重点的に推進	重点的に推進	税収、徴収率は上昇傾向にあるが、より強固な徴収体制の構築が課題となっており、当該施策の優先度は極めて高い。
総合的な人事制度の確立	重点的に推進	重点的に推進	職員は区政を牽引する力の源であり、職員一人ひとりの持てる力を最大限引き出す組織体制の確立は、区政を推進する基盤として極めて重要である。
職員研修等の充実	重点的に推進	重点的に推進	職員育成と人材獲得のための取組は、いずれも活力ある強固な組織を形成するため、極めて重要である。
総合的な情報システムの確立	推進	推進	セキュリティや業務継続性の確保に万全を期しつつ、時代に即応したシステムを構築し活用することにより、区民サービスの向上や事務の効率化等に進めていく。
区有財産の適正な管理・保全	継続	継続	区有財産は、行政サービスを提供していく際の基盤となるものであり、経済的かつ効果的に利用されるよう維持管理していく。